

アオサギ観察会

2012年6月22日

アオサギを襲う者たち

カラス アオサギの天敵の代表格といえ、国内ではハシブトガラスを置いて他にないでしょう。右の写真では、巣の背後に黒い影がふたつ見えています。狙われているのは手前の巣のヒナ。ちょうどこのくらいの大きさのヒナ（だいたい3週目）がよく襲われます。ヒナが3週目より小さければまだ親がいますし、4週目以降になればさすがに大きすぎて手に負えないようです。カラスは集団で襲うときもあれば単独で襲うときもあります。ヒナも果敢に抵抗しますが、如何せんまだ動作が鈍く、カラスの機敏な動きにはついていけないようです。



猛禽類 カラスに比べれば頻度は少ないものの、いったんコロニーにやって来ると散々荒らしていくため、その被害は甚大です。そのうえ、親が巣にいてもお構いなしなので安心できる時期がありません。左の写真、左下の巣に猛禽が陣取っているのがお分かりでしょうか。この猛禽はクマタカですが、他にオジロワシやオオワシ、オオタカなどでも捕食事例が確認されています。とくにオジロワシは各地でアオサギのコロニーを襲撃しており、最近では、名寄にあった大規模コロニーがオジロワシの度重なる襲来によって完全に放棄されています。

アライグマ その攻撃力は猛禽よりも強力一度狙われるとまず助かりません。垂直の幹だろうが細い枝だろうが驚くほどスルスルと上ってしまいます。右の写真は色が同じで分かりにくいのですが、アライグマが巣に覆い被さるようにどっかりと乗っています。夜行性とは名ばかりで、白昼でも堂々と襲撃してきます。今ではアライグマも全道に広がってしまいましたから、人知れず攻撃されているコロニーが他にもあるかもしれません。写真を撮ったのは岩見沢のコロニー。野幌をアライグマによって追われたサギたちがつくったコロニーのひとつです。



ヒグマ おそらく、人間を除けば最強の捕食者でしょう。アライグマよりはるかに大きな図体でありながら、木に登ってヒナを襲うのはアライグマと同じです。ヒグマの場合も、いったん味をしめると何度も訪れるようです。これまでのところ捕食が目撃されたのは夕張コロニーの一例ですが、山間部では他にもヒグマの被害に遭っているコロニーがあるかもしれません。夕張の場合は、一度に最大で4頭ものヒグマがやって来たといえます。残念ながら、このコロニーもその年を最後放棄されています。